

2025 年度 コンテンツ地方創生拠点 応募様式（①コンテンツ観光振興型）

記入方法・記入例

【コンテンツ観光振興型について】

食や文化等様々な地域資源とコンテンツの魅力とのかけあわせにより地域の魅力に新たな価値を創造し、観光等、関連産業の活動拡大を通じて、地域の価値向上（インバウンド誘客による消費拡大等）に主眼を置く取組。（例：アニメツーリズム、ロケツーリズムなど）

※各項に記載の「○頁内に収めること」という指示に従い、ページ数の上限は厳守ください。

※表の行・列の幅や高さについては、内容に応じて適宜調整していただいて結構です。また、図表・グラフ・写真を貼付しても構いません。表形式では記入・貼付が難しい場合、形式を変えても構いませんが、表頭・表側の記載項目がどこに記載されているか分かりやすい形とし、ページ数上限は厳守してください。

※文字サイズについては 10 ポイント以上とし、可読性には配慮してください。（A4 での印刷を想定して可読性をご確認ください。）

- ✓ 「2025 年度 コンテンツ地方創生拠点 応募様式（①コンテンツ観光振興型）」の記入にあたり、必ずお読みください。
- ✓ **赤字**は記入に際しての注意事項、記入欄に記載の黒字は記入例です。記入例はあくまで一例であることにご留意ください。

2025 年度 コンテンツ地方創生拠点 応募様式（①コンテンツ観光振興型）

申請者情報

取組名 ※連携するコンテンツ名・取組内容がわかりやすい名称としてください。目安 30 字程度。	「〇〇(コンテンツ名)」を連携した地域おこしプロジェクト
応募団体名 ※取組を代表して応募を担当する団体(自治体・協議会等)の名称を記載ください。	〇〇県〇〇市／〇〇協議会
担当者連絡先 ※応募に関して連絡をさしあげる可能性がございます。担当者としては連絡がつく方を記載ください。	
①所属	〇〇県〇〇市〇〇課
②担当者名(ふりがな)	〇〇 〇〇 (×××× ××)
③担当者役職	〇〇係長
④住所	〒XXX-XXXX 〇〇県〇〇市〇〇 X-X-X
⑤電話番号 ※連絡担当直通のものを記載	XXX-XXXX-XXX
⑥メールアドレス ※連絡担当直通のものを記載	xxx@yyy.lg.jp

(1) 地域で連携するコンテンツ ※(2)と合わせて1頁内に収めること

地域等において大きな経済波及効果をもたらす取組の核となる魅力をもつコンテンツについて記載してください。

コンテンツのジャンル	コンテンツのジャンルについて記載してください。選定に係るコンテンツの範囲とは、地域に大きな経済波及効果をもたらす、本取組の核となるコンテンツ等(※)とします。 (※)コンテンツ等:コンテンツ(アニメ、マンガ(出版)、実写(映画・ドラマ等)、ゲーム、音楽、ライブエンターテインメント等)等、創作的・創造的な価値や評価を生み出しているものとします。 複数記載可 アニメ・マンガ
具体的なコンテンツの名称	複数記載可 ジャンル全体に係る取組の場合、記載不要。 〇〇作「〇〇〇」(20XX 年発刊)／マンガ

(2) 取組地域 ※(1)と合わせて1頁内に収めること

コンテンツと地方創生の好循環の取組を実施する地域、地域とコンテンツのつながりについて記載してください。

取組地域	取組を実施している地域について記載してください。 取組体制については別途記載欄があるため、ここでは取組が行われている地域を具体的に記載してください。 〇〇市／〇〇地域(〇〇県・〇〇県)
「地域で連携するコンテンツ」と当該地域のつながり	客観的にそのつながりが確認できるよう、わかりやすく記載ください。取組地域が複数の地方公共団体にわたる場合には、それぞれのようなつながりがあるか分かるようにしてください。 (例)コンテンツのモデル地・ロケ地がある／〇〇作者出生の地である／コンテンツに関する施設がある／コンテンツに関わるイベントがある 〇〇県・〇〇県:〇〇祭というコンテンツに関わるイベントを開催。／〇〇市:〇〇出生の地 〇〇市:〇〇が中高時代を過ごした。〇〇記念館設置。

(3) 連携体制 ※1 頁内に収めること(体制図を活用する場合も同様)

コンテンツと地方創生の好循環の取組を実施する体制について記載してください。

取組体制	体制図形式での提示を推奨。体制図の場合、本欄に貼付してください。 各ステークホルダーの役割を明記してください。 本取組に関する専任者がいる場合には、その旨を付記してください。 〇〇市〇〇課:全体の調整、進捗管理、事業実施(本取組専任者(〇〇担当チーム)が〇名従事)。 〇〇市××課:コンテンツと××に関する事業実施(主に〇〇、〇〇と連絡を取り、〇〇について調整)。 〇〇観光協会:情報発信・連携(〇〇HP・SNS 運用)、評価検証。 〇〇商工会、〇〇組合:〇〇市内の企業〇社が加盟。コンテンツを活用したお土産等の開発・販売、飲食の提供、商店街での企画・運営。 株式会社△△:コンテンツに関する著作権管理、企画の監修(各地域事業者とやりとり)。
コンテンツ関係者との協力体制構築状況	本取組を実施するにあたり、コンテンツ関係者との調整状況・協力体制などの構築状況を可能な範囲で具体的に記載してください。 コンテンツ関係者とまちおこしに関する協定「〇〇」を 20XX 年に締結しており、～～といった協力を実施することを定めている。／地域でのコンテンツ活用(著作権使用料)に係る契約を締結している。／コンテンツ利用に係る禁止事項・留意点を取り決めた。内容としては～～。
組織のトップの関与実績	組織のトップが本取組に積極的に関与している実績があれば記載ください。組織のトップとは首長・商工会議所会頭・観光協会会長・DMO 代表・コンテンツ関係者や企業代表等を想定しています。 組織のトップのリーダーシップにより本取組を推進するための専門部署(〇〇課)・専門チーム(〇〇チーム)が設置された。／取組推進のために首長と企業代表が主導して、連携協定「〇〇」を締結した。／イベント「〇〇」に毎年登壇し、関連イベントの〇割にも登壇している。

(4) コンテンツを起点とした地域資源を活用することによる新たな価値創出等の地域活性化の取組 ※5 頁内に収めること
コンテンツを起点に地域資源を活用し、地域を活性化する取組内容、その成果について記載してください。

※記入欄表の行は増減させていただいて構いません。

- ① 「取組概要」の欄に、コンテンツの魅力を起点に、その地域ならではの地域資源(食・食文化・伝統文化・史跡名所等の有形無形の様々な地域資源)を活用した、コンテンツと地域の魅力を体験できる取組内容と取組の目的(地域活性化にどのように結びつくかの説明)を、下記＜観点の例＞を参考に記載してください。取組ごとに、過去の実績や今後の予定を含め、取組期間についても記載ください。記載の際には取組ごとに、該当する観点の番号(ア～キ)を記載してください。
- なおその際、以下についても記載できることがあれば1～2 文程度で簡潔に記載ください。取組ごとで重複する場合は欄外にまとめて記載いただいても構いません。
- 取組がどのように地域資源の魅力を伝えているのか。
 - コンテンツの魅力やコンテンツファンのニーズを踏まえ、それをどのように取組において活かしているか。
- ② 「成果」の欄に、各取組による直接的な成果(取組の目的を達成できたことを表す実績)を客観的に評価できる定性・定量データ等を用いて簡潔に記載ください。定量データについては＜定量データ例＞も参考にしてください。また、経済波及効果や広告換算効果等、特定の計算や推計によって示される数値について記載する場合は、調査対象・調査方法・算出方法について1 文程度で簡潔に補記してください。

＜観点及び定量データの例＞

観点の例	定量データの例 ※下記以外のデータでも問題ございません。
(ア)地域資源をコンテンツの魅力を活用して紹介 (例)コンテンツと連携し地域資源を紹介するイベント等の企画	コンテンツと連携した地域資源を紹介する施設・イベントの来場・参加者数、アンケートの結果
(イ)地域資源を活用した商品開発 (例)コンテンツとのコラボによる地域資源のブランド価値向上や高付加価値化に資する商品開発	商品の販売数・売上高、地域内の連携事業者数、地域事業者の商品開発数(コンテンツ活用事例数)、高付加価値商品の造成数
(ウ)地域限定のオリジナル企画 (例)地域に行かなければ体験できないコンテンツ関連の企画	企画参加者数、企画での売上、参加者の消費額
(エ)リピーター創出 (例)催事の開催や定例化	リピーター数(特定の施設・場所でも可)、再訪意向の割合
(オ)回遊促進 (例)交通手段の提供、モデル地マップの作成、施設・マンホール・銅像等の設置、スタンプラリー等の実施	特定交通機関の利用者数、スタンプラリーや交通機関パス等の回遊促進ツールの利用者数、近隣飲食店の売上
(カ)滞在長期化	宿泊者数、延べ宿泊者数、宿泊日数平均(特定の宿泊施設でも可)、宿泊プラン販売

(例)コラボルーム、宿泊者向けモデルプラン作成・紹介、ナイトタイムツアー等の実施	数、滞在長期化のための企画(例:ナイトタイムツアー)等の参加者数
(キ)その他	

#	取組概要	成果	観点
1	<u>地域資源を活用したコラボ商品の開発(20XX年、20XY年)</u> 地域事業者と連携し、地域資源〇〇・△△等を活用したコンテンツコラボ商品を計〇点开発した。地域事業者や地域で生産されている材料を用いることで、地域事業者や生産者に利益が還元するように企図した。地域資源〇〇は～～といった特長があるため、それを活かした～～にすることで、魅力が伝わるようするといった工夫を実施した。また、「〇〇」(コンテンツ)は～～といった世界観があるため、～～といった企画に対しては修正を依頼するなど、各事業者の企画を〇〇課でアドバイスをを行い、権利者との調整が円滑に進むようにした。／以前実施したアンケートでファンは～～を求めていると判明したため、～～といった工夫を実施した。販売は現地のみとすることで、ファンの来訪も促した。	コラボ商品により約〇円の売上が創出された。また、この取組を契機に地域事業者の自発的なコラボレーションが加速し、この後、〇件の自主的なコラボ商品開発が生まれ、約〇円の売上につながった。また、20XY年にファンが来訪する施設〇〇でのアンケートで、来訪理由を聞いたところ、来訪者約〇人のうち約〇割が現地限定販売の当該コラボ商品を目当てに来訪していた。実際に地域事業者からは～～といった声も届いている。	ア、イ、ウ
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(5)コンテンツへの貢献 ※1 頁内に収めること

(4)の取組やその他の取組で、コンテンツの制作・広報・流通・権利保護・アーカイブ化等に寄与する取組等コンテンツ関係者(権利者、クリエイター、制作会社等)への貢献やファンの満足度向上につながる取組について、取組内容と成果を記載してください。

(例)

(ア) コンテンツの魅力を体感できる場の創出、ファンの交流機会提供

- コンテンツの魅力を伝える施設・イベント運営、ファンミーティングや交流イベントの誘致・開催
- 放送や配信、連載等の終了後も継続してコンテンツの魅力に触れられる場の創出
- コンテンツのアーカイブ化と公開、関連資料の収集・展示(コンテンツの保存・継承)

(イ) 広報・広告効果の最大化

地域と連携した多言語での情報発信、海外イベントにおけるコンテンツ権利者らとの共同プロモーション

(ウ)コンテンツ制作の円滑化・クオリティ向上、地域ならではのリアリティ付与

- ロケ地の選定の支援や、モデル地との交渉のフォロー、地域住民によるエキストラ協力、地域特有の文化・風習に関する監修協力

(エ)権利者・クリエイターへの還元・支援

- 地域でのコンテンツ関連イベント開催時における、権利者・クリエイターの交流機会の創出
- 地域でのコンテンツ活用における模倣品・海賊版対策の協力、著作権に関する啓発活動

- コンテンツの魅力を伝える施設を地域に開設。コンテンツファン向けの展示だけでなく、初見の人にも魅力が伝わるような～といった展示にすることで、地域を訪れた観光客や地域の住民がコンテンツの魅力を感じられ、コンテンツファンのすそ野が広がるように努めている。来場者アンケートで約〇割がコンテンツを知らない人だったが、その〇割が関心を持ったと回答している。また、既にコンテンツのファンであった人(全体の約〇割)の人でもコンテンツへの理解が深まったと〇割が回答しており、コンテンツの満足度向上に寄与したと考えられる。
- 地域とつながりのあるコンテンツの制作企業に対し、地域内の多様なロケーション候補地の提案、地権者や住民との交渉・調整、撮影許可申請の代行などを一元的にサポートした。これにより、制作チームはロケハンや調整にかかる時間を約 3 割削減でき(制作チーム談)、制作者が求めるクオリティの映像制作に集中できる環境を提供。結果として、作品のリアリティと地域への没入感が高まり、公開後のファンからの評価向上に貢献した。また、撮影期間中には地域住民がエキストラとして参加し、制作現場と地域との良好な関係構築にも寄与した。

(6) 持続可能な仕組みの構築 ※1 頁内に収めること

本取組を将来にわたって持続・発展させていくための仕組み(取組)について以下の例を参考に記載してください。各取組について、定量的・定性的に示せる成果があれば付記ください。なお、仕組み(取組)については、今後計画されているものを含みます。その際は、予定であることを明記ください。

本取組が一時的なものではなく、将来にわたって持続・発展していくための仕組み(取組)について、以下の観点の例を参考に具体的に記載してください。「観点」の欄に該当する観点数の番号を記載ください。

<観点数の例>

(ア) 持続的に取組を実施するための資金面での工夫

(イ) 担い手の人材育成(クリエイターではなく、コンテンツと地方創生の好循環の取組を推進する人材や事業者の育成)

(例) コラボ商品企画方法についてのセミナー、専任者から地域事業者へのノウハウ移転の工夫、優れた取組を行う事業者や人材の表彰、ナレッジの蓄積・可視化

(ウ) 地域資源の保全・ファンとの良好な関係構築

(例) オーバーツーリズム対策／二次交通整備／多言語対応／宿泊施設多様化／自然・景観保全(清掃活動)／文化財保護(見学ルール徹底、修復寄付受付)／住民の理解醸成(説明会)／住民生活の保護(マナー啓発、生活圏配慮)／聖地巡礼マナー啓発(私有地立ち入り禁止、撮影ルール)

(エ) 地域が目指す将来ビジョンの設定や PDCA サイクルの実施

(オ) その他

#	取組概要	観点数
1	〇〇施設への訪問集中を避けるため、予約制の導入・時間帯別入場制限を実施し、混雑緩和を図っている。〇〇施設は多い時は同時刻に〇人が来訪し、来訪者アンケートでも混雑が不満として挙げられていたが、現在は各時間帯〇人に収まっている。また、コンテンツとコラボした、個人で利用できる二次交通手段(レンタサイクル)を提供し、訪問客の移動手段を多様化し、住民が利用するバスへの負荷が軽減するようにしている。このレンタサイクルは毎月平均〇人が利用している。住民にもコンテンツについて周知する説明会・上映会を実施し、モデル地訪問のニーズへの理解を促進している。	ウ
2		
3		
4		
5		
6		
7		

(7) 国内外への情報発信等取組 ※2 頁内に収めること

国内外で実施している情報発信の取組(情報媒体やイベント内容、その理由など)、効果を上げるための工夫、海外への情報伝達を促進するための工夫等を記載ください。また、情報発信に係る定性・定量的成果が判明していれば、その内容を併記してください。

- コンテンツに関する HP 等で当該コンテンツのゆかりの地域で実施されているイベント情報等を一括して紹介。地域の観光情報についても掲載している。
- 国内外のファンコミュニティと連携し、イベントの際には告知を流してもらうようにしている。定期的に(各年程度)地域を訪れる海外のファンコミュニティも現れている。
- 旅行商品をふやすため、国内外の旅行代理店関係者を呼んでファミトリップ(※1)を実施した。実際にファミトリップに参加した企業と○件のツアー造成が実現した。
- イベントチケットを購入できる○か国語対応の専用アプリを用意。また、海外 OTA(※2)とも契約してツアー商品として販売を実施している。アプリリリース・OTA 契約前後で海外からの来訪者が○割増えた。
- ファンが多いと想定される海外の展示会に地域として出展。
- 関係各所と連携し、コンテンツファンの多い国で、コンテンツを切り口とした商談会・イベントを実施。コンテンツに関する対談イベントとともに○○市の○○・○○を知ってもらえる体験ブースや商談スペースを設置した。○人が来場し、～～といった効果が見られた。

(※1)旅行会社、メディア関係者、インフルエンサーなどを招待し、魅力を体験してもらうための視察旅行。新しい観光商品の開発やプロモーション、情報発信を目的として実施。

(※2)インターネット上で航空券、ホテル、レンタカー、パッケージツアーなどの旅行商品を予約・販売するオンライン専門の旅行会社。

(8) 効果 ※3 頁内に収めること

(4)で記載した成果のほかに、本取組全体を通して、地域活性化への寄与やコンテンツの魅力の発信等コンテンツ関係者及びファンへの貢献などにどのような効果があったか、定性・定量的効果について客観的に評価できるデータを、以下の例を参考にお示しください。なお、効果については、「見込み」も含みます。その際は見込みであることを明記ください。

(例)

定性的効果に関する情報

- 受賞歴(表彰名、主催者名、受賞年など)
- 地域のイメージ・ブランド価値の向上(国内外のメディア、海外 OTA 等海外代理店での取扱い拡大、海外旅行会社による新規ツアー商品の造成・販売開始、国内外のメディアでの取扱い拡大、住みたいまちランキングや移住先ランキングの順位向上)
- 国際的な旅行ガイドや予約サイトでの高評価獲得(海外 OTA のランキング上位入賞、高評価)
- 海外メディアでの特集記事掲載、著名インフルエンサーによる紹介
- 住民における地域資源の再評価(今まであまり知られていなかった地域の資源が回遊されるなど)
- 住民の地域への誇りや愛着(シビックプライド)の醸成・向上
- 関係するステークホルダーの行動変容につながった(学生団体や市民団体の活動が活発化した、地域のファンに対する対応が変わった)
- 地域へのアクセス改善(公共交通機関の増便や新規路線の開設、チャーター便の運航など)
- 宿泊施設の誘致・新規開業、既存施設の多様化
- 地域内の事業者間連携の強化(異業種コラボレーション、共同プロモーションの活発化)

定量的効果に関する情報

- 地域での取組全体での経済波及効果
- 地域全体の観光消費額の増加率(地域全体の観光客一人あたり消費額、地域全体の観光関連産業売上高)
- 地域への訪問者数の増加率(コンテンツを目的とした訪問者数、地域全体の訪問者数)
- 取組地域の宿泊施設の稼働率・平均宿泊単価の変化
- 関係人口・交流人口の増加数(ふるさと納税寄付者数、リピーターの地域外からの割合、コンテンツとは関係のない地域活動への参加者数)
- 移住者数・定住人口の変化
- ふるさと納税額の変化
- 地域関連ウェブサイトのアクセス数、SNS フォロワー数、メディア露出回数(記事数、放送時間など)の変化
- 住民アンケートにおける地域への誇り・愛着度(シビックプライド)の数値変化

● コンテンツ関連事業者の新規参入数、雇用創出数

※経済波及効果や広告換算効果等、特定の計算や推計によって示される数値については、調査対象・調査方法・算出方法について 1 文程度で簡潔に補記してください。

定性的情報	● ○○主催「○○な観光地」として 20XX 年に表彰を受けた。授賞理由に○○(コンテンツ)の活用が挙げられており、～～といった点が評価された。 ● 住民がコンテンツファンの受け入れに積極的になり、コンテンツに関係のある情報をまとめて看板として設置するといった自主的な活動が見られた ● 海外 OTA(○○)で「旅行者が選ぶ観光地」世界第○位、国内第 1 位に選ばれた。
定量的情報	● 本取組の経済波及効果を○○大学と共同で調査し、約○億円と試算された。(地域での取組として○○施設・○○イベント・○○それぞれの訪問者にアンケートを実施。独自に訪問者一人あたりの消費額を費目別に集計・分類し、地域内での総消費額を算定、○○県産業連関表を用いて算出。詳細は○○大学「○○における経済波及効果」20XX 年記載。) ● 取組地域の宿泊施設稼働状況が 20XX 年までは平均○割稼働だったところ、取組以降、平均○割稼働となった。他施策の影響もあるが～～の観点でこの数値の改善に本取組が寄与したと考えられる。 ● 当市及びコラボ商品として活用した地域資源△△の知名度が上がり、当市のふるさと納税額が約○円から取組開始後約○円まで上昇。うち、△△はふるさと納税で約○円程度の納税額だったが、コラボ商品販売をした 20XX 年から約○円程度を毎年集めるまでになった。 ● 毎年実施しているシビックプライドに関するアンケートで、本取組を始めた○年以降、本市を誇りに思うと回答した人の割合が○ポイント上昇した。

(9) 参考 URL(取組の概要が分かる団体サイトや記事紹介サイト、SNS アカウント等)

1	
2	
3	
4	
5	

6	
7	
8	
9	
10	